

第1回 横幹連合総合シンポジウム

開催
日時

2006年12月1日(金)13:00~17:15
~2日(土) 9:00~17:00

開催
場所

キャンパス・イノベーションセンター
東京都港区芝浦3-3-6 JR田町駅「芝浦口」より30m
(地図 <http://www.zam.go.jp/e00/e0000900.htm>)

主催：横幹連合(特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合)

【横幹連合会員学会】(50音順)

応用統計学会、オフィス・オートメーション学会、可視化情報学会、形の科学会、経営情報学会、計測自動制御学会、
研究・技術計画学会、国際数理科学協会、システム制御情報学会、社会・経済システム学会、情報文化学会、スケジューリング学会、
精密工学会、地域安全学会、日本応用数理学会、日本オペレーションズ・リサーチ学会、日本感性工学会、日本経営工学会、
日本経営システム学会、日本計算機統計学会、日本計算工学会、日本行動計量学会、日本コンピュータ化学会、
日本シミュレーション学会、日本シミュレーション&ゲーミング学会、日本社会情報学会、日本植物工場学会、日本信頼性学会、
日本生物工学会、日本知能情報ファジィ学会、日本デザイン学会、日本統計学会、日本時計学会、日本人間工学会、
日本バーチャルリアリティ学会、日本バイオフィードバック学会、日本バイオメカニクス学会、日本品質管理学会、
日本リモートセンシング学会、日本ロボット学会、ヒューマンインタフェース学会、品質工学会、プロジェクトマネジメント学会

後援：化学工学会、情報処理学会、電気学会、土木学会、日本機械学会

協賛：(財)カシオ科学振興財団、横断型基幹科学技術推進協議会

第1日目 / 12月1日(金) / 13:00 ~ 17:15 / 基調講演 + パネル討論

13:05 ~ 14:00 【基調講演】「人工物を考える - 人工物観と横幹技術」

横幹連合会長 吉川弘之(産業技術総合研究所)

14:15 ~ 17:00 【パネル討論】「縦と横の連携が新たなイノベーションを拓く」

日本の工学を代表する学会のトップの方々によるご講演の後、
学の連携を語り知の統合を展望するパネル討論を行います。

パネリスト：情報処理学会 副会長 中島秀之 氏(ほこだて未来大学)
(学会名50音順)

電気学会 副会長 滝沢照広 氏(日立製作所)

土木学会 会長 濱田政則 氏(早稲田大学)

日本機械学会 会長 笠木伸英 氏(東京大学)

横幹連合 副会長 木村英紀(理化学研究所)

司会：横幹連合 理事 安岡善文(東京大学)

第2日目 / 12月2日(土) / 9:00 ~ 17:00 / オーガナイズド・セッション

■ セッションA(3セッション)：

自然、社会、人工物などが抱える諸問題を横断型科学技術の視点から展開し、解決策を探る。

■ セッションB(3セッション)：

横断型科学技術を推進するための仕組み、コトづくりの方法論、さらには人材育成の課題を探る。

■ セッションC(3セッション)：

横断的知、普遍性、普通原理などを発見、活用し、新展開を探る。

■ 特別セッション：経済産業省と横幹連合との連携企画。

「横幹思考と技術ロードマッピングによる異分野技術の融合」

各セッションのテーマ、オーガナイザ、タイムテーブルは、裏面をご覧ください。

※受付開始時間：1日目12:30~、第2日目8:30~

参加費 *事前申込は11月24(金)まで、ホームページにて受付中です。

区分	事前申込*	当日申込
横幹連合会員学会の個人正会員	3,000円	4,000円
会員外(上記以外)	3,000円	4,000円
学生	2,000円	2,000円

第1日目のプログラム終了後に
懇親会を開催します。
ぜひご参加ください。
(参加費4,000円、ただし学生2,000円)

詳細・事前参加申し込み ▶

<http://www.trafst.jp/symposium2006/>

お問い合わせ ▶

特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合(略称・横幹連合、おうかんれんごう)
〒113-0033 東京都文京区本郷1-35-28-303(計測自動制御学会事務局内)

事務局 総合シンポジウム係 電話・FAX：03-3814-4130

E-mail：symposium2006@trafst.jp

統合知の創成と
展開を目指して



特定非営利活動法人

横断型基幹科学技術研究団体連合

NPO：Transdisciplinary Federation of Science and Technology

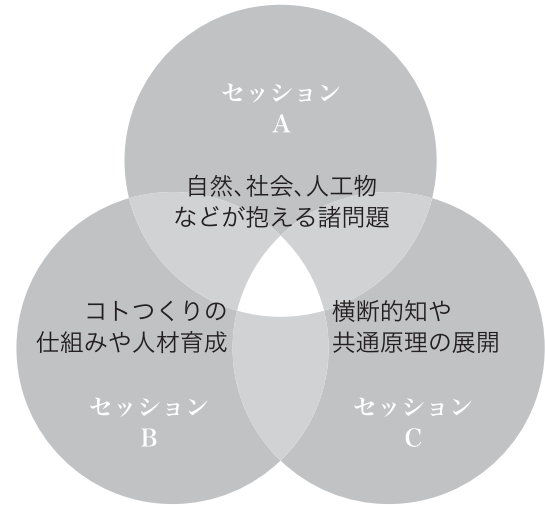
歓迎のごあいさつ

第1回横幹連合総合シンポジウム 実行委員長
佐野 昭(慶應義塾大学)

横幹連合を構成する学会が昨年11月、長野で一同に会した「第1回横幹連合コンファレンス」での収穫をふまえ、今年に『第1回横幹連合総合シンポジウム』を計画いたしました。第1回目の開催となる今年の総合シンポジウムでは、『統合知の創成と展開を目指して』を全体テーマに掲げ、ヨコの連携のさらなる強化を目指します。

第1回横幹連合総合シンポジウムの第1日目には、パネル討論を行います。ここでは、伝統的な学問分野の代表的な学会からパネラーをお招きして、従来の学問分野別の学会と横幹連合の学会との、タテとヨコの協調によるイノベーション創出や、プロジェクト推進の仕組みを議論します。第2日目は、横断型の知のコラボレーションを実践する、9つのオーガナイズド・セッションと1つの特別セッションを企画しました。セッションでは、それぞれのテーマに関して、新たに知を統合し、展開することにより、さまざまな問題に取り組む方策を探ります。講演に加え討論の時間も十分にとっています。

複雑に重層した問題を解決するための方法論において、何が課題となっているのか、何をブレイクスルーすればよいのか。まず、それを明確することが、それぞれの立場からの知を連携させ、新たな統合知の創成には必要です。さらに、異分野の問題解決へ貢献する仕組みへとつなげることができれば、これにまさる喜びはありません。みなさまぜひご参加くださいますよう、お願いいたします。



第2日目(12月2日(土))のプログラム

	第I室	第II室	第III室	第IV室
9:00	I-1 (B)セッション 「コトづくりの理論とデザイン - 社会知が組織する -」 オーガナイザ: 遠藤 薫(学習院大学)	II-1 (A)セッション 「“災害”におけるスーパー横幹科学技術の視点」 オーガナイザ: 安岡 善文(東京大学)	III-1 (C)セッション 「形を通じた領域横断的知の活用」 オーガナイザ: 松浦 執(東海大学)	IV-1(S)特別セッション 「横幹思考と技術ロードマッピングによる異分野技術の融合」 オーガナイザ: 渡邊 政嘉(経済産業省) 神徳 徹雄 (産業技術総合研究所)
11:30	休憩			
12:15	I-2 (C)セッション 「大規模データの分類と解析技法 - 次世代型データマイニング技術の構築に向けて -」 オーガナイザ: 渡辺 美智子(東洋大学)	II-2 (A)セッション 「人工物の高経年化対策に対する横幹的アプローチ」 オーガナイザ: 古田 一雄(東京大学)	III-2 (B)セッション 「横断型科学技術者育成の現状と課題」 オーガナイザ: 佐野 昭(慶應義塾大学)	IV-2 (C)セッション 「横断型科学技術としてのSN比」 オーガナイザ: 森田 浩(大阪大学)
14:00	休憩		休憩	
14:45	I-3 (A)セッション 「社会問題の可視化への横幹的アプローチ」 オーガナイザ: 妹尾 大(東京工業大学)			
15:00				
15:30				IV-3 (B)セッション 「意思決定のためのシミュレーションモデル」 オーガナイザ: 川田 誠一 (産業技術大学院大学)
17:00				

※セッションの詳細は、ホームページ(<http://www.trafst.jp/symposium2006/>)をご覧ください。